

科名 血液内科 血内132

対象疾患名 移植前処置

プロトコール名 Haplo-SCT前処置 (TBI+ATG+ivBu+L-PAM)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1			TBI	1Gy		↓	↓								
2	点滴注	側管	ソルメルコート 生食	125mg 100mL	サイモグロブリン投与1時間前			↓	↓						
3	点滴注	側管	生食	100mL	サイモグロブリン試験投与用			↓							
4	点滴注	側管	サイモグロブリン注 注射用水 生食	2.5mg/Kg 5mL 500mL	6時間以上かけて 要フィルター			↓	↓						
5	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて					↓	↓	↓	↓		
6	点滴注	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	0.8mg/Kg 100mL	60分かけて 4時 調製から8時間以内に投与終了 5%ブドウ糖は必要量にする					↓	↓				
7	点滴注	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	0.8mg/Kg 100mL	60分かけて 10時 調製から8時間以内に投与終了 5%ブドウ糖は必要量にする					↓	↓				
8	点滴注	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	0.8mg/Kg 100mL	60分かけて 16時 調製から8時間以内に投与終了 5%ブドウ糖は必要量にする					↓	↓				
9	点滴注	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	0.8mg/Kg 100mL	60分かけて 22時 調製から8時間以内に投与終了 5%ブドウ糖は必要量にする					↓	↓				
10	点滴注	側管	アルケラン注 生食	70mg/m ² 100mL	30分かけて 調製から90分以内に投与終了									↓	↓

1コース=10日間

～MEMO～

・ハプロ移植前処置

〈ブスルフェクス〉

・ブスルフェクスを、10倍量の生食、又は5%ブドウ糖液で希釈する。

・調整後は8時間以内に投与終了。

・痙攣予防として、フェニトインを1回 100mg 1日3回 内服する。

〈サイモグロブリン〉

・試験投与

投与初日は試験投与を行う。

①1vを注射用水5mLに溶解し、このうち 0.5mLをとる。

②①を生食 100mLに希釈し、1時間以上かけて投与。

・アナフィラキシー予防

投与1時間前に ソル・コーテフ 100mg静注、アトアミノフェン 0.5g/回、ホラミン錠 2mg/回の内服を行う。

途中アレルギー-症状あれば再度追加検討。

・インラインフィルター付(0.2μ)点滴セットを使用すること。

〈アルケラン〉

・1vあたり専用溶解液 10mLを加え激しく振盪して完全に溶解する。

・調整後は90分以内に投与終了。

・調整後の溶液は、沈殿することがあるので冷蔵しないこと。

・投与前日から投与後24時間は十分な水分補給(3000mL以上)および利尿剤の投与とアルカリ化を行なう。